

令和 7 年度

S 日程（1 月 28 日）入学試験問題

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

6 科 目

【国語・英語・数学・化学・生物・日本史】

国語の問題は裏表紙から始まります。

受験する学科の指定科目および科目数に注意して解答してください。

●必須：必ず受験する科目 ◇選択：合計科目数となるように選択する科目

学科	2 科目型						1 科目型						合計 科目数
	国語	英語	数学	化学	生物	日本史	国語	英語	数学	化学	生物	日本史	
社会情報 デザイン学科※	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	【2 科目型】 2 科目
健康栄養学科	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	
食物栄養学科	◇	◇	◇	◇	◇	◇	／	／	◇	◇	◇	／	
食品開発学科	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	
人間福祉学科	●	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	【1 科目型】 1 科目
幼児教育学科	●	◇	◇	◇	◇	◇	●	／	／	／	／	／	
児童教育学科	●	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	
心理学科※	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	
文芸文化学科	●	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	◇	

※ 2 科目型での「化学」と「生物」の組み合わせは不可

（注意事項）

1. 解答は、すべて別紙の解答用紙（マークシート）に記入してください。
2. 試験開始後、解答用紙（マークシート）の所定欄に正しく氏名と受験番号を書き、
受験番号のマークもしてください。
3. 試験開始後、各科目の表紙及び解答用紙（マークシート）の注意事項をよく読んで
ください。
4. 筆記用具は、H B の濃さの鉛筆、またはシャープペンシルを使用してください。
ボールペンやサインペン、色の薄い鉛筆は使わないでください。
万一使用した場合には、正常に採点できないことがあります。
5. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙（マークシート）
の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。

令和七年度 S日程（二月二十八日）入学試験問題

国語

（注意事項）

1. 解答は、すべて別紙の解答用紙（マークシート）に記入してください。
2. 試験開始後、解答用紙（マークシート）の所定欄に正しく氏名と受験番号を記入し、受験番号のマークもしてください。
3. 筆記用具は、HBの濃さの鉛筆、またはシャープペンシルを使用してください。
ボールペンやサインペン、色の薄い鉛筆は使わないでください。
万一使用した場合には、正常に採点できないことがあります。
4. 試験開始後、解答用紙（マークシート）の注意事項をよく読んでください。

一 次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

マドリッドに住みはじめた一九七二年、初めての冬を迎えたある夜に、この国にはめずらしい職業があることに気がついた。夜回りのセレーノである。十二時を回って、さすがに夜の遅いスペイン人たちの帰宅も疎^{まば}らになると、アパートの玄関口で、通りに向って手を鳴らしながら「セレーノーッ！」と呼ぶ声が聞こえる。すると、近所の居酒屋の暖炉で暖をとっていた夜回りが、腰に警棒をぶらさげ、合鍵をガチャガチャ鳴らしながら走ってきて、ドアを開けてくれる。なにがしかの小銭を渡すと「グラシアス（ありがとう）」と言って受け取ると、セレーノはふたたび居酒屋に戻るか、通りに消えていく。

ほくも、ご帰還^Aが遅くなる週末の深夜には、よくセレーノのお世話になったものである。初めのうちは手拍子もうまく鳴らず、「セレーノーッ！」と呼ぶ声もエンリヨ^aがちであったが、しまいには、すっかり板につくようになっていた。一度呼んだだけで、「ボイ、ボイ（今行くよっ）」と言いながら、セレーノは飛んでくるのであった。

セレーノは、界限^{かいがい}のアパートの玄関の合鍵をすべて持っていて、夜十時になると一軒一軒のドアを閉めていく。そのため、ほんの五分のつもりで、近くの居酒屋で寝酒を引っ掛けて戻ってくると、たいていの場合、ドアはもう閉められている。治安のためにはこの方が安全であるし、それにドアが開いたままでは、セレーノも商売にならない。

セレーノという職業は、十七世紀の文学作品には登場しているので、古い伝統があることは確かだ。さらにそれより以前、すでに中世の時代に、夜回りは都市の治安維持には欠かせない、重要な役職として存在していたらしい。これは、闇夜がいかに人々には恐ろしいものであったか、ということにほかならない。

敬虔なカトリックが多いスペインでは、中世以来、人は暗いカテドラルの中で、ステンド・グラスを通してほのかに漏れ入る光の中に、神のケイジ^bを聞いてきた。もつとも、暗闇の中で光を見るシユウセイ^cは、現在の日常生活にも残っていて、スペインでは夜、テレビを見る時、明かりを消している家庭が多いのもその一つだ。

これとは別に、どこの世界でも、昔の夜は本当に恐かったようだ。実際、月明かりのない夜は、人々はほとんど外出せず、犬の遠吠えさえも、不安な気持ちで聞いていたらしい。夜は追剥ぎ、強盗のような悪人の出没する時間帯であるばかりでなく、恐ろしい悪魔や魔女が恐い民話のなかに登場するのも、闇夜が背景になっている。

今でもマドリッドのような大都市でさえ、古いアパートの玄関口には中世以来使われているピカポルテと呼ぶ、中の人に合図する

叩き金が付いている場合が少なくない。中の住人は、小さな穴から相手を確認してからドアを開けている。

セレーノは深夜の玄関口の管理と、通りの見回りを受け持つ役職になる。そして、昼間はどのアパートにも、ポルテロと呼ぶ管理人が、椅子にずっと座ったまま物憂げに通りを見やつている。このようなチェック機能が、昔から今日まで伝統として受け継がれてきたのは、夜の恐さと社会不安を常に抱えてきたからである。

セレーノ (sereno) とは、もともと静かでアンタ^dイであることや、雨も降らない空気が清澄な状態をいう形容詞。動詞ではセレーナル (serenar) といい、穏やかで安全な夜を過ごす意味になる。

ドイツ語のセレーナーデは、スペインではセレーナータといい、「雨も降らない、静かな夜」という意味であるが、夜に恋人の窓の下で奏でる音楽を意味するようになった。

あ

そして、セレーノという名詞になって、町の人に夜の安全を提供する、夜回りの意味になっている。だが、最近はこのセレーノをほとんど見かけなくなってしまった。深夜でも町が明るくなったことが、この職業を奪ったのかもしれないが、ぼくには、もっと別の意味があるように思われる。例えば、居酒屋にやってきた客は、掃除のおばさんが一日の糧を得ることができるよう、さり気なく、足元に食べかすを捨てておく。街頭の宝くじ売りは、体や眼の不自由な人の仕事になっているので、健常者は彼らの仕事を奪わないように努めている。学校の授業の終了間際になると、用務員が一つ一つ教室を回って、終了時間を告げにくるのも、機械化や合理化をできるだけ避けて、人間同士がもちつもたれつした、血の通った暖かみのある社会を、この国が目指してきたからにほかならない。

ここでは、「国家」とか「制度」に頼るのではなく、自分^cが他人に頼る部分を残しておく、相互扶助の図式が成り立っている。したがって、スペインでは、物事を完璧に成し遂げてしまったり、完全に自立する個人主義的思考では、社会が成り立たないのである。食べたエビの殻を皿に入れずに下に捨てたり、教室に時計を掛けなくておくのも、それが他人への思いやりにつながるからである。これは、生産性を目指したがゆえに、効率やスピード、勤勉さを美德としてきた日本に生まれ育ったわれわれには、理解しにくいことの一つである。

夜外出するときに、アパートの玄関のカギを持って出ないのも、同じ理由による。小銭と引き替えに、セレーノは住民に安全を提

供し、互いの「い」につながっているからだ。このような習慣が長く引き継がれてきたのは、スペイン人の思考が、「う」「よりも」「え」「」に価値観を求めてきたためである。今日でも、スペインを訪れるわれわれ日本人や欧米人が、「時間」とか「お」のような社会通念の異なるこの国にしばらく滞在するうちに、はじめはイライラすることが多くても、しだいになんともいえない心地よさを感じて、すっかりスペイン流の虜^{とりこ}になってしまうのも、このためである。

それとは別に、イベリア半島には、昔から弱者にやさしい社会の仕組みがあった。教会や修道院は、引き取り手のない子供を孤児院に収容したり、行き倒れの人を施療院に引き取って介護したり、その日の糧にありつけない人には、食事を与えたりして、社会奉仕してきた。^(注2)サンティアゴ・デ・コンポステラに向う巡礼の街道筋には、宗教法人が無料で宿泊所としてシセツ^eを開放したり、民家の軒下が無料で貸し与えられたりしていた。

セレーノが今、スペイン社会から姿を消してしまったのも、町が明るくなってきたことよりも、この国がEUに加盟して、急速にヨーロッパ化が進んでいることと関係があるように思われる。ピレネーの向こうのヨーロッパの一員として重要な地位を築きつつある今日、その分だけ個人主義、合理主義の方向に変わりつつあり、昔のスペインの良さが失われていくようにみえる。^D夜道で「ブエナス・ノーチェス（今晚は）、気をつけてお帰り」と声をかけてくれたセレーノのいなくなったスペインの夜は、かえって暗くなつたように思えるのだが。

（太田尚樹『サフランの花香る大地ラ・マンチャ』中央公論新社による）

（注1） カテドラル……カトリック教会の聖堂。

（注2） サンティアゴ・デ・コンポステラ……キリスト教の三大巡礼地の一つ。スペインのガリシア州にある。

※問題作成上の都合により、文章の一部に手を加えてあります。

問一 傍線部A「ご帰還」は尊敬語を著者が自分自身（ぼく）について用いているため本来ならば誤用であるが、ここではわざと

このように表現されている。次のうち、著者が意図したと考えられる表現に1を、意図したとは考えられない表現に2を、それぞれマークしなさい。解答番号は

1

 ～

5

。

ア 異国の地にすつかりなじみ、マドリッドが自分のホームタウンになっていたことの暗示

イ 平日を乗り越えて、週末に気持ちよく飲んできた気分の表明

ウ 酔っぱらって帰ってくる自分の姿の戯画化

エ 海外である程度の地位を得た、我が身への誇りのほめかし

オ 上司や先輩などの、目上の人が同行していることの示唆

問二 傍線部B「今でもマドリッドのような大都市でさえ、古いアパートの玄関口には中世以来使われているピカポルテと呼ぶ、中

の人に合図する叩き金が付いている場合が少なくない」とあるが、それはなぜか。文脈に則して最も適切と考えられるものを、

次の1～5の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は

6

。

1 カトリック由来の慣習により、暗闇の中でも微かな光で小さな穴から相手を確認するのが普通のことであるため

2 現在でも恐ろしい時間帯と考えられている夜の時間に、来訪者が危険な者でないかを見定めるため

3 セレーノと同様、都市の治安維持に欠かせない、古い伝統のある重要な役職のため

4 スペインの夜の恐ろしさと社会不安を背景に、昼夜を問わずアパートの安全を保つチェック機能のため

5 安全の提供にも人間同士の暖かい相互扶助を目指す、スペイン社会の特性のため

問三 空欄

あ

 に入る最も適切な文を次の1～4の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は

7

。

1 雨音や喧騒のように、その調べが恋する二人の秘密の語らいを隠すからである

2 たとえ雨に濡れてでも、夜のざわめきに紛れさせて愛する人にそっと聞かせたものだからである

3 雨のようにしつとりとした官能の雰囲気を添え、静かな夜の町に響き渡るからである

4 雨では恋人の家の窓辺に行くことはできないし、騒々しくは聞こえないからである

問四 傍線部C「自分が他人に頼る部分を残しておく、相互扶助の図式が成り立っている」とあるが、以下のうち、この文脈における「自分」と「他人」の組み合わせで適切なものに1を、不適切なものに2を、それぞれマークしなさい。解答番号は

8 12。

- | | |
|--------------|---------------|
| ア 自分…ぼく | 他人…セレーノ |
| イ 自分…掃除のおばさん | 他人…居酒屋にやってきた客 |
| ウ 自分…学校の生徒 | 他人…用務員 |
| エ 自分…住民 | 他人…セレーノ |
| オ 自分…行き倒れの人 | 他人…教会 |

問五 空欄い お に入る最も適切な語を次の1～4の中から一つずつ選び、マークしなさい（それぞれの語は一度しか使わない）。解答番号は 13 16。

- 1 完璧度
- 2 調和
- 3 利益
- 4 ルール

問六 傍線部D「夜道で、ブエナス・ノーチェス（今晩は）、気をつけてお帰り」と声をかけてくれたセレーノのなくなったスペインの夜は、かえって暗くなったように思えるのだが」とあるが、ここには著者のどのような気持ちが表れているか。最も適切なものを次の1～5の中から選び、マークしなさい。解答番号は 17。

- 1 スペインの夜の思い出の光景を懐かしむ気持ち
- 2 古い伝統のある職業が急激に姿を消していくことに無常を覚える気持ち
- 3 セレナータが聞こえなくなり、町の個性が薄まっていくのを惜しむ気持ち
- 4 マドリッド固有の伝統文化が消え去ってしまうのは味気ないという気持ち
- 5 人間同士がもちつもたれつする風景が無くなってしまふのが寂しいという気持ち

問七 二重傍線部 a～e を漢字表記に改めた場合、それと同じ漢字を用いるものを、それぞれ次の各群の 1～5 の中から一つずつ選
び、マークしなさい。解答番号は

18

 ～

22

 。

a エンリヨ

- | | | | | |
|---------------------------------|-----------------------------|--------------------------------------|----------------------------|-----------------------------------|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| 彼女のリヨリヨクを知らずに腕相撲なんかするから、骨折するんだよ | 弟のカブトムシをホリヨにして、ゲーム機を返すよう命じた | 彼のあまりにもリヨガイな物言いに、つい頭から味噌汁を浴びせかけてしまった | このハードなりヨテイは、筋肉を育てるのに向いているね | 私のハンリヨですと猫を紹介したら、なんともいえない笑顔を向けられた |

b ケイジ

- | | | | | |
|------------------------------------|----------------------------|---|----------------------------------|--------------------------------------|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| カンケイをめぐらして、お一人様1ケースまでの卵を5ケース買ってきたぞ | この殺虫剤は、ゴキブリを憎む全人類ヒッケイの逸品だよ | その神社にサンケイしてから、毎日足の小指をぶつける上に、飼い犬に手まで噛まれるのだけど | 貴公のとどまるところを知らない食欲に、イケイの念を抱いております | テンケイを得たと叫んだおじいちゃんが山に姿を消してから、もう十年になるね |

c シュウセイ

- | | | | | |
|--|------------------------------------|--------------------------------|--|--------------------------|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| トンビにクレープをキュウシュウされたのが、我々の鎌倉デートのケチの付き始めだった | 草むしりにシュウジユクしないと、田舎での楽しい老後は送れないのである | 荷台から逃げ出した牛の大騒ぎは、どうやらシュウソクしたようだ | 切手、シーグラス、古書、フィギュア：シュウシュウ癖のせいで部屋も肩身も狭くなる一方だ | これは君のシュウガク意欲を、試すためのテストです |

d
アンタイ

1 誰か来てくれ！ タイガンが火事だ！
2 タイゼンと構えていると見えた大將は、実は恐怖のあまり気絶していた
3 社長の目の前で宴会芸を披露するという、タイヤクを仰せつかってしまった
4 この、タイコウ遺愛の茶杓ちやしやくって、耳かきにしか見えないのだけど
5 私がカレーを愛するのには、タイシャを上げるという目的もまたあるのです

e
シセツ

1 トップのまずいシシンのせいで今期も火の車だけど、頑張ろうね
2 シジョウの偉人にも、変わり者がいるものだ
3 一人アフタヌーンティーは我がシフクのひととき、誰にも邪魔はさせぬ
4 あのお調子者がシカイを務めて、果たしてよいものか
5 我が県にやたらにご当地キャラが多いのは、シサクゆえです

二 次の対話文を読み、後の設問に答えなさい。

西村義樹（一九六〇～）。言語学者。専攻は認知言語学。

野矢茂樹（一九五四～）。哲学者。

西村 まず、今回の話の前提として、カテゴリー化について話しておこうと思います。「カテゴリー化」といっても、とくに難しいことでも特別なことでもなくて、私たちがふだん何気なく行なっている、「分類する」とか「種類に分ける」ということです。そんなこと、特別なときにしかやっていない、と思われるかもしれませんが、椅子に腰かけるときにも、それを椅子として分類・シキベツ^aしているからこそ、腰かける。つまり、椅子というカテゴリーで捉えているわけです。

これが、言語の問題に大きく関わってきます。たとえば、「犬」という語の意味を理解しているというのはどういうことか、と考えてみます。それは、何かを見たときにそれが犬か犬でないか判断できることですよね。つまり、「犬」のような語の意味が分かるとは、

A

にほかならない、そう考えられます。

野矢 分類というと、名詞が一番ピンときますが、名詞以外の例はどうですか。

西村 たとえば、「走る」でも、「走る」という語の意味が分かっているとはどういうことかといえば、ある動きを見たときに、それが走るという種類の動作なのか、それとも歩くとか這うとかといった動作なのか判断できるということだと言えます。

野矢 分類だけが言葉の働きのすべてとは言えないでしょうが、分類することが言葉の基本的な働きだということは、まちがいないでしょうね。

西村 「カテゴリー」という概念それ自体は、もちろん認知言語学だけで用いられる概念ではありません。認知言語学の誕生以前にも、カテゴリーという用語は使われていました。そこで認知言語学の考え方と対比する意味で、認知言語学以前のカテゴリー観を「古典的カテゴリー観」と呼んでおきます。古典的カテゴリー観がどんなものかというところ、これは、あるカテゴリーに入っているからには、入っているものすべてに共通の特性があるはずだという考え方に基づくカテゴリー観です。

野矢 それは、もう少し強く言わないとだめですね。だって、すべてに共通の特性があるだけだったら、たとえば犬にはすべて動物という共通の特性があるけれど、それだけじゃ犬というカテゴリーを規定することはできない。

西村 そうですね。あるカテゴリーに入っているものを「成員」とか「メンバー」とか言いますが、一つのカテゴリーの成員には、そのすべてが共通にもち、その成員だけがもっている特性があるはずだ、というわけです。つまり、古典的カテゴリー観では、カテゴリーというのは必要十分条件——その成員を過不足なく特徴づける条件——によって規定できると考えます。

野矢 それは、言語哲学で伝統的に「内包」と「外延」という言葉を使って考えていたことと同じでしょうか。たとえば、数学の例が分かりやすいですね、自然数の中で偶数と奇数に分類する。そのときに、偶数を特徴づけるような、「2で割り切れる自然数」という必要十分条件があるわけですね。奇数ならば「2で割り切れない自然数」。「2で割り切れる自然数」を全部集めると、偶数の無限集合ができて、これが偶数の外延ということになる。こういった内包と外延で捉えるようなカテゴリー観が古典的カテゴリー観であると言ってよいのでしょうか。

西村 カテゴリーが、いま言った意味で必要十分条件によって規定できるとすると、カテゴリーの境界、カテゴリーに入るものと入らないものとの間の境界線は、まさにいまあげられた偶数や奇数の場合のように、明確であることになります。つまり、任意のものはあるカテゴリーの成員であるか、ないかのどちらかである。カテゴリーに入るかどうかはつきりしない成員はない、つまりカテゴリーの境界が曖昧になることはありません。

野矢 言語哲学では曖昧さはとても難しい問題で、私はぜんぜんフォローしていませんが、印象としては、まず曖昧さのない概念を扱って意味論を考え、曖昧さの問題はその次に考えようという感じになっているんじゃないでしょうか。 あ、伝統的には古典的カテゴリー観が支配的だったわけで。

い、境界が曖昧な概念なんていくらでもあって、「走る」などは「歩く」と連続的につながっていて、どこからが「走る」でどこからが「歩く」なのかは曖昧ですし、「赤」と「オレンジ色」も境界が明確ではない。

西村 ^(注1)レイコフは「背が高い／低い」について、認知言語学が始まる前に、「曖昧な ^(注2)(fuzzy) カテゴリー」みたいな言い方で議論していましたね。彼は、数学者のザデー (Lotfi A. Zadeh) が一九六〇年代に提唱したファジィ集合論を言語学も取り入れるべき

だと考えていたジギがあつて、これが認知言語学における「プロトタイプ」という考え方の一つの源流になっています。

う、ある集合に対して、その集合の要素であるか要素でないかのどちらか一方しかないのではなくて、その間に連続した程度の違いを認めるような集合論です。

野矢 え、「どんぶり」の集合を考えたときに、ある食器は一〇〇パーセント「どんぶり」とは言えないけれど、七五パー

セントぐらいは「どんぶり」と言える、とか（笑）。

西村 そういうことです。まさに「どんぶり」というカテゴリーは古典的カテゴリー観に従うのではなく、そのようなファジーな捉え方をしなければいけないと、レイコフは考えたわけです。

お、そこで、古典的カテゴリー観に対して、「プロトタイプ」という観点からカテゴリーを考える新しい立場が、認知心理学の一連の研究として、一九七〇年代半ばから出てきます。

野矢 「プロトタイプ」は日本語にすると「典型例」ですか？

西村 そうですね。認知言語学はもう少し広い意味で「プロトタイプ」と言いますが、とりあえずは「典型例」のことだと理解しておいてもらえばいいです。

野矢 もう少し広い意味というと……。

西村 典型例だけでなく、模範例とかステレオタイプ（紋切り型）といったものもプロトタイプとして捉えます。

認知言語学は、カテゴリーの境界の曖昧さに加えて、カテゴリーのメンバー間に「らしさ」についての差が見られることがよくあるとシテキ^dします。同じカテゴリーに属していても、あるメンバーの方が他のメンバーよりもそのカテゴリーのメンバーらしいということがある。いかにもどんぶりらしいどんぶりもあれば、お椀との区別が曖昧などんぶりもあります。典型的な遊びもあれば、ちよつと変わった遊びもあります。あるいは、よく出される例ですが、少なくともわれわれはスズメやツバメの方がペンギンやダチョウよりも鳥らしい鳥だと考えるわけです。

B

プロトタイプですが、人間が用いるカテゴリーというのは、これを中心として、類似性などによってプロトタイプと結びつけられた周辺のメンバーによって構成されている。これが、認知言語学が提示する新たなカテゴリー観なんですね。「鳥」というカテゴリーは、たんなる鳥の集合ではなくて、鳥らしい鳥を中心としてペンギンやダチョウを周辺のメンバーとする、そういうものとして捉えられることになります。

野矢 認知言語学の考え方だと、たんにあるものを鳥か鳥じゃないか区別できるだけではなくて、スズメは「いかにも鳥らしい」けれどペンギンは「鳥らしからぬ変な鳥だ」といった判断ができないと、「鳥」という言葉の意味を理解していることにはならないですね。

西村 プロトタイプを用いた意味論のことを、プロトタイプ意味論と呼びます。一例として、「嘘をつく」という表現で説明してみ

ましよう。どんな行為が「嘘をつく」と呼ばれるかというと、ここには典型的な三つの特徴があります。

- ① 事実でないことを言う。
- ② 発話者自身が事実ではないと思っていることを言う。
- ③ 聞き手を騙す^{だま}意図がある。

この三つが満たされている場合が、嘘をつくという行為の典型と考えられます。

野矢 その三つは、「嘘をつく」とされるための必要十分条件というわけではないんですね。

西村 「嘘をつく」というカテゴリーをそのカテゴリーたらしめている特徴といえば、古典的な立場だと必要十分条件になるわけですが、プロトタイプ意味論はあくまでもこれを典型的な条件と考えます。

そこで、この三つの条件すべてを満たしている文章、二つを満たしている文章、一つだけ満たしている文章をそれぞれ作ってみて、「これは嘘に該当すると思うか」と尋ねてみます。実際、アメリカで^(注3) という語についてそういう研究が為されたんですね。

か 分かったのは、三つの条件がすべて満たされている場合がたしかに典型的に嘘らしい嘘なのですが、一つないし二つの条件が満たされていない発言は、嘘をつくという行為に分類されないかということ、そうではない。そんなに嘘らしくないのだけれども、でもやっぱり嘘でしょうと判断されることが多いと分かっています。

一番嘘らしさが減少するかもはっきりしています。この中では、「事実でないことを言う」が、それが欠けても嘘らしさを減らす度合いが少ない。事実でないことを言わなくても、「嘘である」と判断されることが多いと分かっています。

く 「嘘をつくってどんなことですか」という尋ね方をすると、たいがい、「事実と反することを言うことだ」と答えるんですね。

け 「嘘をつくってどんなことですか」という尋ね方をすると、たいがい、「事実と反することを言うことだ」と答えるんですね。

野矢 ぼくは以前こんな例を考えたことがあります。自分は胃がんだと信じている人が、周りを心配させないように胃潰瘍だと嘘をつく。でも、その人は本当に胃潰瘍だった、というエピソードです。三つの条件で言うと、①が満たされていなくて、②と③が満たされている場合。

西村 「C」ですね。たまたま発言は真なのだけでも、でも、自分は胃がんだと信じてる人が胃潰瘍だと人に言ったら、

やっぱり嘘をついたことになるでしょう。

野矢 あ、広辞苑を見ると「嘘——真実でないこと」と書いてある。

西村 ^Dその規定は嘘ですね（笑）。

野矢 結果的に真実を口にする嘘もある。「騙す意図がある」も、「騙すつもりはなかったんだけど結果的に嘘になってしまった」みたいな言い方はできますし。「嘘」をきちんと定義するのは難しいんですね。こ、プロトタイプという考え方で意味を捉えていくのは、ひじょうにユウコウ^eだし、それしかないだろうという気がします。

西村 ええ。そして、プロトタイプ意味論の考え方がわれわれの意味理解の実際にも即しています。

（西村義樹・野矢茂樹『言語学の教室 哲学者と学ぶ認知言語学』による）

（注1）レイコフ……ジョージ・レイコフ。一九四一〜。アメリカ合衆国の言語学者で、認知言語学の創始者。

（注2）ファジィ集合論……集合の成員について、条件となる要素の「ある／なし」で決めるのではなく、その要素の含み方の度合いを定量化することで、「どちらともいえる」ものも成員として考慮できるようにした集合論。一九六五年に、アメリカ合衆国の数学者ロトフイ・アスカー・ザデーによって提唱された。

（注3）lie……「嘘（名詞）」「嘘をつく（動詞）」という意味の英語。

※問題作成上の都合により、文章の一部に手を加えてあります。

問一 空欄 A に入れるのに最も適切なものを、次の1～5の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は 23。

- 1 その語と意味のカテゴリーが結びつくこと
- 2 犬の特徴をよく理解していること
- 3 その語と結びついたカテゴリーが適切に使えること
- 4 犬への関心が生れたということ
- 5 その語が犬のカテゴリーに属していること

問二 空欄 あ お に補うべき語として最も適切なものを、それぞれ次の1～5の中から一つずつ選び、マークしなさい。解答番号は 24 28。

- 1 つまり 2 さて 3 でも 4 たとえば 5 だから

問三 次の1～5は空欄 B を抜き出してばらしたものです（ただし句読点は省略）。正しい順に並べ替えたときに3番目にくるものを選び、マークしなさい。解答番号は 29。

- 1 「鳥」の意味理解とは無関係だと考えますが
- 2 ペンギンよりスズメやツバメの方が鳥らしいとわれわれが感じることは
- 3 何が鳥らしくて何が鳥らしくないのかという了解こそが「鳥」の意味理解の中心を成すと考えます
- 4 認知言語学は
- 5 古典的カテゴリー観のもとでは

問四 空欄 か こ に補うべき語として最も適切なものを、それぞれ次の1～5の中から一つずつ選び、マークしなさい。解答番号は 30 34。

- 1 つまり 2 そういう意味で 3 そこで 4 ところが 5 そして

問五 空欄 C に入れるのに最も適切なことわざを、次の1～5の中から一つ選び、マークしなさい。解答番号は

35。

- 1 病は気から
- 2 嘘も方便
- 3 ひょうたんから駒
- 4 嘘から出たまこと
- 5 身から出たさび

問六 傍線部D「その規定は嘘ですね（笑）」について、次のア～オの中で、この発言を冗談として成立させている要因として、あ

てはまるものには1を、あてはまらないものには2を、それぞれマークしなさい。解答番号は 36 40。

ア 広辞苑に書かれている「嘘」という語の規定が、他の辞書とは異なっていること

イ アメリカで「嘘」という語の規定を求めたときの回答と、広辞苑での規定が同じであること

ウ 野矢が広辞苑の「嘘」の項目を読んだことを受けて、西村が「嘘」という語をかぶせたこと

エ 野矢が広辞苑を使って古典的カテゴリーを説明したことに對して、西村が批判していること

オ 広辞苑の「嘘」の規定が、プロトタイプ意味論に沿って説明されてしまっていること

問七 二重傍線部a～eを漢字表記に改めた場合、それと同じ漢字を用いるものを、それぞれ次の各群の1～5の中から一つずつ選

び、マークしなさい。解答番号は 41 45。

- | | | | |
|---|------|---|----------------|
| a | シキベツ | 1 | ソシキの中で働く |
| | | 2 | カクシキばったことは苦手だ |
| | | 3 | プロジェクトのシキを任される |
| | | 4 | シキシにサインする |
| | | 5 | 先生のハクシキには舌を巻く |

b
ア

1 左大臣から関白にシヨウキユウする
2 ヨクヨウをつけてしゃべる
3 地方からジヨウキヨウする
4 市長センキョに立候補する
5 コウケツアツの薬を飲む

c
ジキ

1 人との出会いはイチゴイチエと心得なさい
2 キドアイラクの激しい性格
3 話のキショウテンケツを整える
4 その頼みはゴンゴドウダンだ
5 二十年来のチキホウユウの関係

d
シテキ

1 カバンに荷物をツめる
2 声優としての業績をツんだ
3 春になって土筆をツむ
4 糸をツムぐ
5 ツメアトを残す

e
ユウコウ

1 うちの姉は左キきだ
2 心に浮かんた言葉をノートにキする
3 万一をキする心もち
4 親の意見と冷や酒は後でキく
5 私のミスですべての苦勞が水泡にキした